

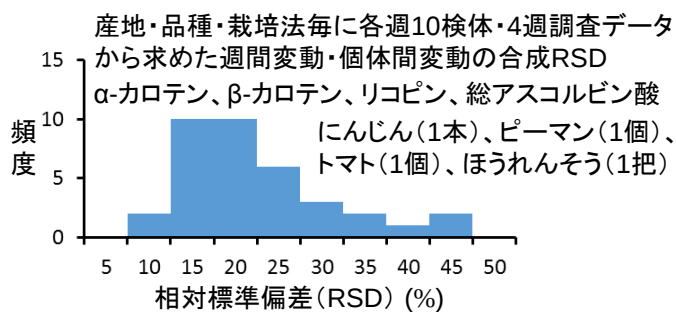
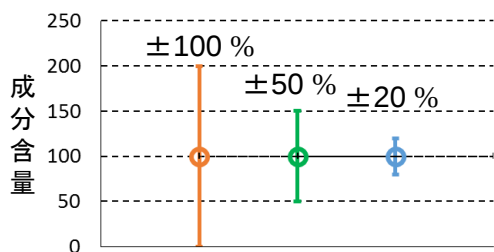
農産物の機能性表示範囲計算上の課題

技術的課題

- ・表示範囲として許容される広さはどのくらいまでか？
- ・サンプリング法の表示範囲への影響は？
- ・表示範囲の計算法及び必要なデータ数は？
- ・表示範囲決定時と表示開始後のデータ分布が同じとみなせるか？

研究の内容

1. 表示範囲として許容される広さは？

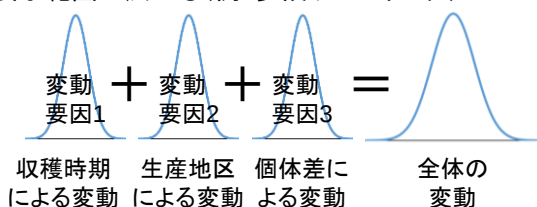


出典：平成20年度やさい・くだもの栄養成分情報提供推進事業報告書(食生活情報サービスセンター)

2. サンプリング法の表示範囲への影響は？

サンプリング法	サンプル収集のしやすさ	表示範囲の広さ
1) 単純ランダム	—	—
2) 多段	1)より効率よい	1)より広い

変動要因が重なるほど全体の変動は大きくなり、表示範囲が広がる(例：多段サンプリング)

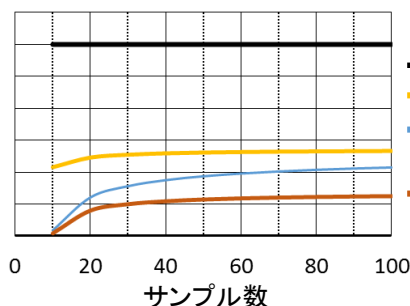


3. 表示範囲の計算法及び必要なデータ数は？

シミュレーション条件

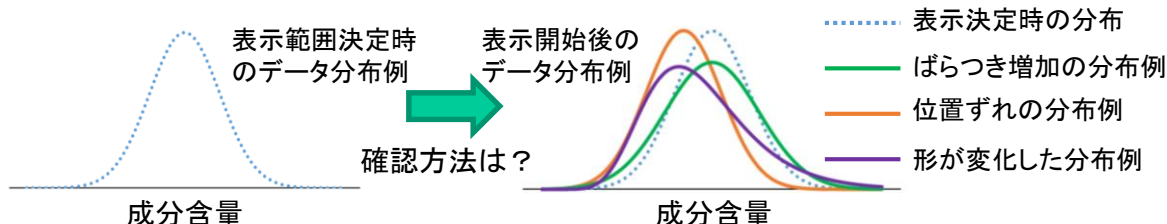
データ分布	正規分布
平均値	10
標準偏差	2
RSD	20%
サンプリング法	単純ランダム
表示個数	1個

表示範囲の候補値



複数個の計算法は？

4. 表示範囲決定時と表示開始後のデータ分布が同じとみなせるか？



参 考 農林水産省：http://www.s.affrc.go.jp/docs/kinousei_pro/reference.htm